

## 第2回「青森競輪経営企画委員会」 ― 会議概要

日時：平成24年10月26日（水）14：00～

場所：青森市役所 第3庁舎「1階・会議室B」

### 出席者

佐藤委員、中村委員、奈良委員、福士委員 [以上4名]

(欠席委員) 加川委員、出町委員 [以上2名]

(五十音順、敬称略)

### 事務局

企画財政部長 伊藤 哲也、競輪事業所長 内山 儀彦、  
競輪事業所主幹 吉田 光秀、競輪事業所主査 高村 謙一、  
競輪事業所主査 渡邊 和則、競輪事業所主査 菊池 圭一郎、  
競輪事業所主事 工藤 剛 [計7名]

### 次第

#### 1. 開会

#### 2. 案件

- ・資料1 平成25年度の運営方針（案）について
- ・資料2 平成26年度以降の競輪包括委託について
- ・資料3 新場外車券売場の検討にあたって
- ・フリートーキング
- ・その他

### 会議概要

#### (1) . 案件について

- 事務局より資料に沿って説明し、その後の質疑応答及び主な意見は以下のとおり。

#### <質疑応答>

##### ○委員

来年度から重勝式車券のランダム方式とセレクト方式の両方を実施したいということか。

##### ●事務局

そのとおりである。

○委員

平成26年度からの包括委託について、現在、包括委託している会社以外にライバルとなる会社はあるのか。

●事務局

数社ある。

○委員

包括委託を継続した6場のうち5場が「企画提案方式」を行っているが、それ以前はどういう方式だったのか。

●事務局

随意契約である。

○委員

包括委託は県内企業が実施できるのか。

●事務局

県内企業で受託してくれるところがあれば良いが、公営競技を包括的に運営するので、ある程度公営競技の運営管理を行ったことがなければ難しい。

○委員

最低収益保証額1億3千万円とあるが、これは売上不振の場合でも、1億3千万円を保証するということか。

●事務局

そのとおりである。

○委員

本場を失くして場外だけにするというのは良くないと思う。

本場をどう活かして経営をどのようにしていくのか、場外を活かして本場と結びつけて全体的な売上をアップしていくことを検討するべきではないか。

●事務局

去年の「青森競輪あり方検討会」においても競輪事業は当面存続するという方針が出され、それを受けて市としても存続させていくこととしている。本場を失くすことは競輪を存続させないことになるので考えていない。

<フリートーキングでの主な意見>

○委員

ミッドナイト競輪は場内車券発売や警備などが不要となり、開催経費の圧縮により収益が確保できるため開催数を増やしてはどうか。

○委員

時代の変遷で、今はパソコンや電話から投票でき、サラリーマンでも時間をかけずに一瞬で投票できるようになった。人が集まらずに競輪場や場外車券売場の売上が減少しても、インターネットや電話投票では売上が増え続けている。

場所を設けず費用をかけなくても良いということで、競輪、競艇、オートレースなどに影響している事例だと思う。

○委員

ガールズケイリンを実施した結果、1レースの売上目標は予想をはるかに超える売上があったと聞いている。

その後も結構人気があるようで、青森で実施するときには地元の選手にいて欲しい。

○委員

委託業者が、清掃から管理からサービスから様々なことを市に代わってこれまでおこなっているが、将来何かしらのトラブルが発生した場合、市にノウハウが無いため契約で不利に立たされるといった懸念も予想される。

また、仮に今の受託業者が引き上げるといった事態が生じた場合、条件面で不利になることも考えられるのではないかと思う。

○委員

競輪事業は県内企業ではできないと思う。

機器に精通した人を集めて、資金面や技術の面でも一つ間違うと大変なことになる。

日本トーター（株）に何かあった場合、青森競輪はストップするという覚悟でお互いにやっつけていかなければならないと思う。

○委員

包括委託を止めて以前の直営に戻すと一からやり直しとなり、その費用や必要な期間は莫大なものになると思う。

○委員

安方前売サービスセンターを新場外車券売場とする際、売上などその時でないとはならないことも出てくるため、そうしたことも勘案する必要があるのではないか。

一番懸念するのは、せつかく借金をして新場外車券売場を造って、いざ実施してみたら返済不能ということである。

○委員

新場外車券売場の候補地として、一点目は八甲田丸の近辺、二点目は青森駅南側のサンフレンドビル付近の空き地、三点目は浅虫の旧遊園地跡地はどうか。

これらは公共交通機関の便の良い場所にマッチしている。こうした場所を、お互いに出し合って検討するのが前向きな気がする。

○委員

青森競輪は将来のために事業資金的な積み立てをした方が良いのではないか。

支出の件数が多く、入ってくる分が少ないので不安を感じた。

(文責 競輪事業所)